

# 杏林大学大学院保健学研究科

## 2018年度秋学期 在学生による研究報告会プログラム

12月13日(木) B206マルチルーム(三鷹キャンパスとの中継あり)

発表時間:修士は報告10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

開始時間	演者		分野	指導教員	題名	座長
9:00- 9:05	神谷研究科長 開会の辞					-
9:05-9:22	必修2S	桶田 璃緒	診療放射線学	橋本 雄幸	モンテカルロシミュレーションを用いた散乱線補正の研究	山本 智朗
9:22-9:39	必修2S	平野 高望	診療放射線学	橋本 雄幸	正規化項を用いた逐次近似再構成法の物理評価	山本 智朗
9:39-9:56	必修2S	眞野 浩輔	診療放射線学	橋本 雄幸	治療中におけるコーンビームCT画像再構成の画質改善	山本 智朗
9:56-10:13	必修2S	佐藤 公哉	臨床工学	四倉 正之	人工心臓を用いた循環系シミュレータの開発と性能評価	山本 智朗
10:13-10:30	必修2S	三浦 晶大	臨床検査・生命科学	島田 厚良	胎児炎症反応において頭部の原始マクロファージが早産児脳障害を誘発するメカニズム	田中 浩輔
10:30-10:40	休憩					-
10:40-10:57	必修2S	菱川 瑞穂	診療放射線学	山本 智朗	複数エネルギーの放射性核種によるSPECT定量精度の向上に関する研究	田中 浩輔
10:57-11:14	必修2S	茂木 一樹	診療放射線学	山本 智朗	骨SPECT/CTを用いたイメージングバイオマーカの確立に関する研究	田中 浩輔
11:14-11:31	必修2S	池川 玲	診療放射線学	久原 重英	高速T1 mappingにおける心拍変動の影響と補正法に関する検討 -PCTIP法に関する検討-	田中 浩輔
11:31-11:56	保博2S	加藤 博之	リハビリテーション科学	長谷川 利夫	日本の精神科医療における身体拘束を防止するための方策の検討	八並 光信
11:56-13:00	お昼休憩					-
13:00-13:17	必修2S	児玉 優太	リハビリテーション科学	八並 光信	2型糖尿病患者の運動療法における至適運動強度に関する検討 二重積屈曲点法の妥当性について	丹羽 正利
13:17-13:42	保博2S	飛田 和基	リハビリテーション科学	八並 光信	肺高血圧症患者における運動時肺循環動態を予測する指標に関する検討	丹羽 正利